

# 低コストで質の良い 加工・業務用農産物の安定供給技術の開発

【363(485)百万円】

## 対策のポイント

国産農産物の需要確保のため、加工適性が高く低コストで適時調達が可能な加工・業務用農産物の生産技術を開発します。

### (米粉利用の加速化)

米粉利用に適する多収品種：米粉利用を加速化するためには、実需者評価を踏まえた多収品種の選定が必要です。

## 政策目標

○高品質な加工・業務用農産物を低コストで安定的に生産できる技術を開発し、食料自給率向上に貢献

## <内容>

### 1. 輸入品に対して優位性を発揮できる高品質な加工・業務用農産物の開発

豆腐加工適性の高い大豆等新しい特性を持つ畑作物、スライスに適したトマト、カット野菜・フルーツの加工後の鮮度保持技術等の開発を行います。

### 2. 超省力・低コスト化技術確立による生産性の飛躍的向上のための技術開発

加工用甘しょ、馬鈴しょの貯蔵技術の開発、機械化一貫体系によるカット用キャベツ生産技術、トマトの周年多収栽培技術等の開発を行います。

### 3. 研究機関、生産者、食品産業の共同（モデルコンソーシアム）による加工・業務用農産物の利用技術の開発

新規育成品種・系統について、生産現場での高品質安定栽培技術、その生産物を利用した加工利用技術を各機関の連携により総合的に開発を行います。

## <実施主体等>

実施主体 民間団体等  
実施期間 平成18年度～平成22年度

[担当課：農林水産技術会議事務局研究開発官（食料戦略）（03-6744-2214（直））]

# 低コストで質の良い加工・業務用農産物の安定供給技術の開発

## 低コストで質の良い農産物の実需者ニーズと研究目標

### 水稲

- ・冷めても硬くなりにくいリーズナブルな価格のコメ
- ・品質・食味が良い
- ・ロットの均一化

### 野菜

- ・サンドイッチ等に利用し易い生鮮用トマト
- ・大玉で歩留まりが高い玉ねぎ
- ・周年供給可能な、カット用に適したキャベツ

### 大豆

- ・ロットの均一化
- ・豆腐用として歩留まりが良く固まりやすい品種
- ・豆乳の風味の良さ

実需者  
ニーズ

新品種  
の開発

品質・量  
の安定化

- ・外食、中食に適した多収で直播用の品種の開発

- ・スライス用に適した省力栽培型トマト品種の開発
- ・歩留まりが良い加熱調理に適した大玉玉ねぎ品種の開発
- ・端境期4～5月に収穫可能なカット用キャベツ品種の開発

- ・豆腐加工適性の高い品種の開発
- ・倒伏しにくいなど、機械化適性の高い品種の開発

- ・大規模炊飯・パッケージ後の風味等品質状態の解明

- ・キャベツの機械化一貫体系による省力栽培技術の開発
- ・カット青果の鮮度保持技術の開発

- ・シストセンチュウ等病害抵抗性品種の活用
- ・大豆臭の除去技術の開発

## 加工・業務用農産物の安定生産技術の確立